

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・購買意欲を高めるイベントがたくさんある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の表情が良く、いきいきとしている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・観光客が降雪を警戒して客足が鈍る時期もあったが、1月は全般的には良好となっている。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・クリアランスは前年実績を下回ったが、その後の気温低下により、衣料品が好調に推移している。バレンタイン商戦も好スタートとなっている。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・株高の影響等もあるが、高額品の動きが顕著であると共に、バレンタイン催事も前年を上回る形でスタートしている。本当に欲しい物への需要は引き続き強い。
		百貨店（計画担当）	お客様の様子	・年始から外商客を中心に美術品や宝飾品等の高額品にも動きが出てきている。来客数は増加している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・これまで仕入れ原価が高騰しても価格を据置いてきたが、最近見直した。しかし、販売量は変化せず売れており、客単価が上昇した分、売上は増加している。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・例年1月は厳しい時期だが、今年は来客数が若干増えている。以前よりは少し良くなってきている。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・売上の微増が続いている。
		スーパー（ブロック長）	お客様の様子	・客単価は少しではあるが上昇している。高額な食材の動きも良くなっている。年末商戦からは、好調に推移している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・夕方、夜間対策のキャンペーン等で品ぞろえを強化し、デザートやベーカリーの売上が改善している。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・高額な商品でも品質が良ければ売れるようになってきた。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車に買換える客が増えている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・年明けで心機一転という効果もあり、今年に入ってから客の動きが活発になっている。買換え需要が中心だが、購買意欲は高い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車種の投入もあるが、1月からは売れる時期となり、例年どおり業況は良くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車種の発売効果もあり、新型車種を中心として小型車、ハイブリッド車が好調に推移している。ガソリン価格が徐々に上昇しており、燃費の良い車種が関心を集めている。
		その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	お客様の様子	・株価が上向きになっていることで、客の反応は良い。ただし、まだ様子見という感じも見受けられる。
		高級レストラン（役員）	来客数の動き	・忘年会を中心とした宴会の来客数は前年を上回り、懸念された客単価の低下もそれほどではなかったため、前年並みの売上高を確保できている。
		一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・客の大半が土木、水道関係者であるが、来客数が増えている。水道関係の客は、工事受注件数が増加して人手が足りない、うれしい悲鳴をあげている。
		旅行代理店（経営者）	それ以外	・ターミナル駅周辺では新規ビル開業で人の動きが増えており、近くの金融機関等も来客数が増加している。モノの消費は少ないが、飲食や国内旅行等コトの消費は徐々に増えている。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・安価な商品に流れていく客が少なくなり、むしろ品質の高い商品を選ぶ客も出てきている。	
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・1月中旬までは来客数、売上共に順調に推移していたが、寒波や雪の影響で数日間の閉鎖を余儀なくされた。来客数は予算比マイナスとなっているが、景気としてはそれほど悪いとは感じず、3か月前よりはむしろ良くなっている。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	競争相手の様子	・定年退職者の応募が徐々に増え、不足が続いていた人員を確保できるようになってきた。現政権の働き方改革や年金受給額減少への備えから、定年退職後も継続して働く人が増加している。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・必要な物以外は購入しない傾向がずっと続いている。販売量、売上高の改善にはつながらない。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・個人消費はあまり良くない。	

	商店街（代表者）	来客数の動き	・年始回り用の注文は、法人客は少しだけ上向きだが個人客は良くない。個人客に関しては、千円以上の商品が特に厳しい状況である。
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・我が国の企業経営に、米国の新大統領就任による影響がどのように表れるか見通せない。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・年は明けたが、景気はなかなか上向かない。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・伊勢志摩サミット後も引き続き参拝客でにぎわい、売上は好調が続いている。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・例年、花持ちがよいこの時期は売行きが鈍るが、今月は大雪もあって、やはり動きが悪くなっている。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・年末年始の売出しが終わると来客数は大きく減っている。年始のバーゲンもチラシの出た日から3日ほどはまあまあ良かったが、その後はふだんより悪くなっている。寒い日が続く買物に出る気がしないようである。スーパーの食品部門は、活気があるようで横ばいの様子である。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・客層が二極化しており、景気の良い客の売上は伸びて来客数も多いが、どちらかといえば景気の良くない客が多く、全体では売上、来客数共に減少が続いている。1月は新しい動きが出る月だが、店としての状況は変わっていない。
	一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・11月末に新店舗を出し、そこそこは売れているが既存店と同じ程度で、当初予定したほどは良くない。
	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・年度末に予算を消化する駆け込み受注が始まっているが、あまり勢いが感じられない。
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・食品については前年並みではあるが、その他衣料品を中心に非常に悪い状況が続いている。
	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・1月に入ってかなり冷え込んだこともあり衣料品は好調に推移しているが、宝飾品の動きが鈍い。
	百貨店（販売担当）	単価の動き	・初売りやセールで来客数は増加し購買意欲を感じるが、高額品の動きは停滞しており、低単価傾向が続いている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・全体的には景気は横ばいである。景気の指標は少々良くなっているが、消費者には良くなっているという実感は全くない。チェーン店や百貨店でも、食品関係の消費はまずまずだが、衣料品等は、この冬の寒さにかかわらずあまり売れず、大幅に値引きをしても売上につながっていないようである。
	スーパー（店員）	単価の動き	・年が明けて、慌ただしかった客の様子も一段落にみえるが、雪の影響も数日程度で、客足は順調である。
	スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・店舗全体の売上は前年同月比90%、来客数は同じく99%と、前月から横ばいであるが、客単価、買上げ点数はダウンしている。米国の新大統領就任による影響等、不安材料がある。
	スーパー（人事担当）	来客数の動き	・前月同様の来客数の動きである。
	コンビニ（企画担当）	お客様の様子	・客は、多少の価格差なら近い店や便利な店の方を優先するようになっており、価格以外のニーズが高まってきている。
	衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	お客様の様子	・客がとにかく物を買わなくなっている。特に衣料品に関しては、その傾向が顕著である。購入をしても低単価な商品ばかりである。
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・1～3月の決算期に入ってきているが、販売台数はなかなか増えない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・1月の販売台数も計画を大幅に下回り、引き続き全社で、目標台数の80%で推移している。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量の動きは良くも悪くもなってはならず、大きな変化はない。
	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・決算時期に入って販売量は例年並みであるが、新規客の動きがさっぱりである。たまに来店があっても冷やかしがほとんどで、受注にはつながらない。新規客に限ってみれば、前年より2割以上落ち込んでいる。
	住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・新築のマンションや持家住宅は減っているが、リフォーム工事は増加傾向にある。民間の新築ビルや公共工事も、減少が続いているが、住宅と同じように大規模改修工事が増えている。

その他専門店 〔雑貨〕(店員)	来客数の動き	・前年同期比で来客数が減少している。
その他専門店 〔書籍〕(店員)	販売量の動き	・年明けはお年玉等で書籍を購入する学生が目についた。例年と同様、ふだんより客単価がアップし、少しではあるが前年を上回っている。
その他小売 〔ショッピングセンター〕(経理担当)	販売量の動き	・売上高は、前年同月比で2.0%マイナス、来客数は同じく1.6%のマイナスとなっている。
一般レストラン 〔パン・カフェ〕(経営者)	来客数の動き	・年明けからの来客数は、前年同期比でみると若干少なくなっている。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・郊外にある店のため固定客が多く、変動が少ない。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・安定的に景気が良くなっているとは感じられない。
その他飲食〔仕出し〕(経営者)	販売量の動き	・客は必要最低限の買物をする。量は少し増えているが、景気の底から回復しているというほど良くなっていない。
その他飲食〔ワイン輸入〕(経営企画担当)	販売量の動き	・消費者の節約志向は、減らすというより取捨選択して無くすという方向に向かっている。
観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・景気の動きというより新規参入が業況に影響している。宿泊客は県内外から来るが、昼食・夕食は主に地元客である。良い月と悪い月があり何ともいえない状況がしばらく続いているが、近隣に都市型ホテルが開業してからは、昼食・夕食の客足が流れている。
観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・3か月前とは季節が異なり、宿泊・宴会・食堂等の部門でも相違はあるものの、全社的な売上は横ばいを維持し、共に目標まであと一歩という点では変わらない。宿泊に関しては、一時勢いのあったインバウンドが、目にみえて減っている。
都市型ホテル (経営者)	お客様の様子	・相変わらず直前の予約取消しがあったり、当日の予約なしの客の動きが不安定である。
都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・宿泊用客室は前年並みの稼働であるが、客単価は前年を大幅に下回る状況が続いている。春以降の予約も非常に低迷している。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・インターネットの発達で客個人による航空会社や宿泊等の予約が増えており、売上の減少が続いている。
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・新年になってからは、当地域でも人気の高いハワイや台北方面の問い合わせが多い。直行便で行ける場所や安全な場所の人気の高い。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・旅行申込に来店する客は減少しているが、インターネットからの申込は増加している。旅行業界全体でも、ネット販売率は4割まで上昇している。旅行へ行く等余暇に時間をあてる人口は、増加している。
タクシー運転手	お客様の様子	・1月は天気も良く、日中も初詣客等の人出がある。仕事始めのころは年始回りの客が少なかったが、後半には徐々に客足も平常に戻り、例年並みの売上は達成できている。
タクシー運転手	来客数の動き	・人出はさほど多くないが、短い距離を歩くのもバスを待つのもつらいほど寒い日には、タクシーの利用客が増える。
タクシー運転手	来客数の動き	・相変わらず、夜の飲食街の人出は少ない。1～2年前には、金曜日等は人出が多いと感じることがたまにあったが、最近はそういうこともない。飲みに出かける客がとにかく少ない。
タクシー運転手	お客様の様子	・客同士の会話の内容から、相変わらず景気が良くないことがわかる。
通信会社(企画担当)	販売量の動き	・年末は今期最高水準の勢いで新規契約者が増えたが、年明けからはかなり失速している。解約者がさほど増えているわけではないので、前月の反動である。
通信会社(サービス担当)	販売量の動き	・引き続き旧サービスの終了で新プランへ移行する客が多い。同時に長期割引に加入する客も増えているので、今後の解約数も多少は減る。
テーマパーク職員(総務担当)	単価の動き	・当園の客単価には変化がみられない。

その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	お客様の様子	・企画列車への集客は、それほど良くない。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	単価の動き	・12月に介護保険制度改正の方向性が定まり、やや安心感があるが、事業者としては、サービス提供価格の上限を決められることになり原価変動に対応できないリスクもあるため、楽観はできない。
設計事務所（職員）	お客様の様子	・新築・改築をする客は、以前ならついでに家具や調度品を新しくそろえることが常であったが、最近はそのような客は少なくなっている。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・前年同期よりも販売量の増加が続いている。ボーナス等の資金的な状況が良いのか、客からは意欲的な反応が多い。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・現状ではまだ横ばいだが、米国の新大統領就任の影響で円安になれば、輸入資材の価格への影響が懸念される。
住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・同業他社の話でも、注文住宅の着工が相変わらず少ない。
商店街（代表者）	それ以外	・取引先等からは景気の悪い話ばかりが聞こえる。ここにきて取引先の廃業や事業縮小も実際に幾つか出ている。売上也厳しい状況である。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・1月前半は、例年ならば新年会で需要が期待できるが、今年は非常に悪かった。頼みの週末もかつてない悪さであるという声が、飲食店の経営者から多数寄せられている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・テナントビルでチョコレートの催事を行っており、平日の昼間でも女性客の来店は多い。しかし、当フロアの来客数は変わらず、セール品の購入客も少なく、売上は厳しい。
百貨店（経理担当）	お客様の様子	・消費者の低価格志向は一層強まっており、飲食や物販のみならず旅行等のサービス業にまで広がっている。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・各種イベントに投入した主力商品の売行きが良くない。
スーパー（商品開発担当）	来客数の動き	・来客数は3か月前と比べ約2%減少しており、売上也良くない状況である。
スーパー（企画・経営担当）	単価の動き	・大雪の影響もあり来客数は減少している。雪の日以外の来客数には変動はない。年末年始の出費の影響からか、客が手にとるのは低単価な商品が増えている。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・雪が降った1月中旬以降は気温も急に下がり、減少した来客数がなかなか回復しない。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・身の回りの景気は悪くなりつつある。周囲に新規あるいは改装オープンのお店があり、特にたばこを中心に売上が落ち、来客数も前年同期比で数%減少している。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・バーゲンシーズンに入っても一見客はほとんど来ない。購買するのはなじみ客だけである。なじみ客の来店も減って販売量は減少しており、本当に厳しい状況である。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・米国の新大統領就任による影響なのかは不明だが、前年末から来客数の動きがやや悪くなっている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・1月は動きのない月であるが、例年以上に全く売れない。問い合わせも少なく、今月は良くない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・飲み会でも、公共交通があるうちに早々に帰宅する時代である。場所も地元で済ませ、繁華街まで足を運んでくれる昔からの客は減少している。
都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・景気回復の目途が立たないため、購買意欲が低下している。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・例年ならば年明けから、夏ごろの旅行商品にも問い合わせが入るが、今年は例年よりも引き合いが少ない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・売上は年度末に向けて減少傾向にある。
テーマパーク（職員）	お客様の様子	・全国で大雪の被害があり、当地域でも交通にも支障が出ているためキャンセルが多い。
観光名所（案内係）	お客様の様子	・長年通っている店では、客層がどんどん変わっている。なじみ客よりも一見客が増えている。
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価の動きがやや悪くなっている。
理美容室（経営者）	来客数の動き	・例年1月は暇な月だが、例年以上に客が来ない。

	美顔美容室（経営者）	来客数の動き	・インフルエンザによるキャンセルや、雪が降って外出できなくなる等で客足が鈍り、来客数が大幅に減少している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・正月に向けて来店する客が多かったため、正月を過ぎてからは来客数が減少している。
	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・広告を出しても来客数は少ない。立地が悪い物件だと、引き合いがゼロのケースも出ている。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	単価の動き	・この時期は、水道管破裂や給湯器の故障等、交換工事が多くて忙しいが、客の方が価格についてインターネット等でよく調べており、あまり利益が得られない厳しい状況となっている。
x	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・全般的に各店舗で、売上が前年同期比で5～10%低下している。
x	衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・例年よりも商品の動きが悪くなっている。介護関連商品の動きも悪い。
x	美容室（経営者）	それ以外	・年明けの1～2月は、パーマをかけて出かける用事も減り、店はとても暇になる。今年は大雪が続き、客足が更に悪かった。
x	美容室（経営者）	お客様の様子	・当地域の景気が悪く、その影響で客も金を使わない。
x	理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客足は安い店に流れる。客からも景気の悪い話は出ない。
企業 動向 関連 (東海)	-	-	-
	化学工業（人事担当）	それ以外	・人気の高いドイツ車輸入ディーラーは、どこも販売店を改築し、以前より広いスペースとなる予定である。市内ではドイツ車を多く見かけ、販売も好調なようである。
	化学工業（総務秘書）	それ以外	・年末年始はこの飲食店も混雑でうんざりしたが、景気は上向いていると感じた。幅広い層で、外食をレジャーの一つに位置づけている。所得格差により、所得の低い人はたまのぜいたくとして、高所得の人は日常生活の底上げといった感覚である。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・一部の地域を除いて受注は安定しており、全体的にみても前年に比べて良くなっている。
	電気機械器具製造業（総務担当）	競争相手の様子	・放送・通信業界では、通信高速化への対応や、テレビ放送の高画質化対応で設備高度化の計画が進んでおり、当業界の設備投資需要は回復しつつある。同業者のなかには事業の見直しやリストラを図る企業等もあり、全面的に明るい状況とは言い難い。
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・取引先では、家電品を買換える人が増えている。
	輸送用機械器具製造業（デザイン担当）	受注量や販売量の動き	・受注が増えて忙しくなっている。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費財系の荷量は前年並みであるが、建築資材等の荷量が好調に推移している。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・東京オリンピックの関係なのか、建築業界を中心に通常の月よりも活気が感じられる。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・米国の新大統領就任による影響で株高、円安がかなり進んでおり、個人投資家の資産運用も堅調である。そのため自動車の購入等に金が使われている。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・機器メーカーが相手の取引先では案件受注が増えており、当社にもその対応で、要員の打診が増えている。
	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・冬物商品の販売量は比較的好調に推移しているが、上期から積み上がった商品の在庫過多による保管料が負担となっている。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年なら受注量、販売量共に落ち込みが大きくなる時期であるが、今月は青果物等の受注が多く、業況は前月から変わらない。
	窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・スマートフォン関連素材は相変わらず増産傾向にあるが、以前よりもコストに対する要求が厳しくなっている。
鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・鋼材メーカーの一方的な値上げが進み、仕入れ価格は急上昇しているが、需要が伸びているわけではないため、販売価格の引上げは徐々にしかできない。	
金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量の減少が続き、販売単価は低水準となっている。	

	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米向け案件の引き合いは増えているが、特にメキシコの設備投資に対する慎重な姿勢が変わらず、受注できるかどうかは不透明である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ3か月間の売上は横ばいである。受注量も業種に関係なくほぼ一定で、毎月良い状況が続いている。	
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・指標としているスクラップ価格は、3～4か月前から少しずつ上昇しており、景気は引き続き良い。1日当たりの受注量も3か月前と比べて変わっていない。	
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・マンション、戸建共にまずまずの売行きで、モデルルームへの来場者数も多い。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・為替の動きが不安定なので、輸出入共に活発化しない。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の動きは、前年同期と比べれば1.1%良いが、ほぼ止まっている。	
	輸送業（エリア担当）	それ以外	・飲食店主の話では、ランチの価格を期間限定で10円下げたら客足が伸びたが、価格を元に戻すと客足も鈍るとのことである。消費者にはデフレ体質が根強く、良い物でも高い金は出さない。	
	金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先の地元自動車部品メーカーの生産状況は、前年並みで堅調である。	
	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・売買価格は、若干ではあるが下振れしている。	
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・全体の広告出稿量としてはそれほど変わっていないが、紙媒体の出稿が減少しつつあり、厳しい状況が続いている。	
	行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の動きが変わらない。	
	公認会計士	それ以外	・客先の中小企業の業績は、売上は多少良いが収益性が依然として厳しい状況である。従業員の所得も増えていない。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・当地域は大企業の下請として自動車部品製造業等の中小企業が多く、大企業の動き次第で変動する。円安に支えられて今のところ目立った変化はない。	
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・飲食店は来客数、売上共に減少傾向にあるが、製造業、建設業は好調で、3か月前と状況は変わっていない。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・今月は全体的に受注が今一つで高額な案件も減少しているため、売上は伸びていない。他社の営業マンに話を聞いても、あまり良い話は聞かない。	
	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・飲料業界では、冬期製品の市場は年々右肩下がりである。	
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・仕事量がさほどなく取り合いになって安値が横行するなかで、金属材料の値上げが直撃するので、状況は厳しい。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・中旬以降は例年よりも荷動きが低調である。寒波の影響で個人消費が停滞している。燃料価格が徐々に値上がりし、トラック業界の経営にも響いてくる。	
	通信会社（法人営業担当）	取引先の様子	・客先の自治体は、例年ならば予算消化に向かう時期にもかかわらず、駆け込み需要がない。地元の大型ショッピングセンターが閉店セールを始めたが、セール初日でも駐車場には空きが目立ち、閉店にも納得感がある。	
	×	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・客先の業界が全体的に悪いなかで設備投資も大幅に減少し、当社の売上も大幅に減少している。
雇用 関連 (東海)	-	-	-	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・法人関係の賀詞交歓会や新年会での利用が多く、ここ数年のなかでも良い。会合の規模も大きくなっている。	
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・この時期は大半の企業で年度末に向けて予算消化の支出が増えるため、3か月前と比べて景気はやや良くなっている。自動車関連企業では、安全走行・先進運転支援システムといった分野で活況が続いている。	
	職業安定所（所長）	求職者数の動き	・業種全体で新規求職者数が前年より減少している。特に事業主都合による離職者が減っている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の増加と求職者数の減少で、有効求人倍率は2か月連続で2倍を超えている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は前年同月比で大幅にアップし、幅広い業種で求人数がプラスの推移となっている。景気はやや良くなる方向にある。	

	民間職業紹介機関（営業担当）	求職者数の動き	・4月1日の入社を目指して、年明けから登録は徐々に増加している。これから3月にかけては、転職希望者も右肩上がりとなる。
	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・特に変動要因はない。
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・株価や為替に米国の新大統領就任による影響がどのようにあるかが見通せず、漠然とした不安がある。
	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数は前年同月比20%弱の減少で、3か月前と比べても10%強の減少となっている。長期派遣労働者の総数は、単月では引き続き前年同月を10%強上回っているが、求人数の減少が続くと影響が懸念される。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・求人募集をしても応募者は少なく採用に至らないため、人材不足が続いており、人材派遣業は業績が上がらない。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・1月に入ってから幅広い業界、職種で求人数は増加傾向にあるが、景況感としては、3か月前と変わらない。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人・求職の状況については、大きな変化はみられない。無業者の減少が続いており、雇用情勢の安定で離職期間の長い人等が減少している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・今月は、前月の新規求人数よりも少し増加している。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	求職者数の動き	・人材派遣スタッフの求人依頼は好調であるが、相変わらず人材不足でマッチングが難しい状況である。
	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・年始回りの訪問では、採用計画数を減らす企業はなかった。ただし既存事業の増員というよりは、IoTやAI関連等、先々の事業変化を見据えての対応で求人が増えている。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・新年のスタートは良くも悪くも穏やかであるが、住宅展示場等の来場者数は前年比で減少傾向にある。繁華街もある程度の人出はあるが、初売りでも大きな袋を抱えている人はまばらである。富裕層の消費による底支えを期待する。
	x	-	-